



2021年4月入職
看護師 Fさん

入職して3か月が経ち、日々の業務にも少しずつ慣れ、病棟に入院されている患者さんにも名前を覚えてもらい、声をかけてもらえることも増えてきました。

私が配属された急性期治療病棟では入退院も多く、患者さんの病状も日々変化します。臨機応変な対応が必要になってきますが、教科書だけの知識では上手く行かないことも多くあり、先輩方に助けをもらいながら日々の業務を行っています。

また、学生時代の実習では受け持ちは1人の患者さんでしたが、実際には複数の患者さんを受け持つので、優先順位を考えて援助を行うことを心がけています。精神科看護ならではの患者さんとの関わりに難しさを感じることもありますが、患者さんの病状が落ち着き退院する姿や、私の行った援助に対して笑顔で「ありがとう」という言葉を頂いた時などはとても嬉しく、日々の活力となっています。

これからも先輩方にアドバイスを頂きながら、自己での学習も深め、患者さんに信頼される看護師を目指して努力していきたいと考えています。



2021年4月入職
看護師 Sさん

入職してから3か月が経ち、その間様々な看護技術の実施をさせていただくことができました。プリセプターナースや病棟の先輩方のご指導もあり、入職したての頃と比べると技術的な部分は上達したと感じていますが、慣れてきたことによる失敗が事故に繋がることも考えられるため、引き続き気を引き締めていこうと思っています。

そして、患者さんの思いを理解する、受け止めることの難しさもこの3か月で学ぶことができました。患者さんがお話してくださった事に対しての何気ない自身の返答が、患者さんに不快な思いをさせてしまったりと改めてコミュニケーションの取り方、精神看護の難しさがわかりました。

まだまだ半人前であり、未熟な部分ばかりですが、プリセプターナースや病棟の先輩方にご指導いただき、自身も学びを深め看護師として成長していきたいと考えています。

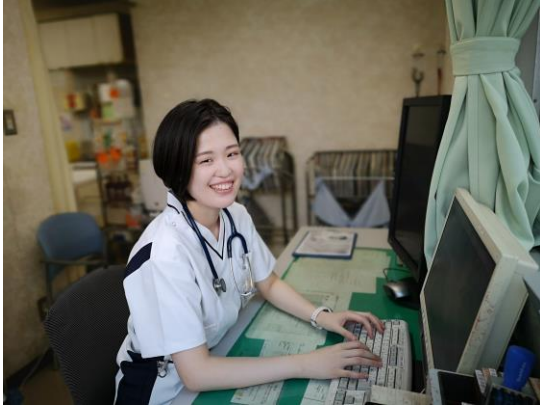


2021年4月入職
看護師 Mさん

茨木病院に入職して、早3か月が経ちました。私は、「人の心」に興味があり看護学校に入った時から精神科に勤めたいと考えていました。私は人よりやることや覚えることに時間がかかり、すぐ焦ってしまい慌ててしまう性格で、職場環境に馴染めるのか、また、日々の業務ができるのか不安でいっぱいでした。しかし、先輩方の丁寧なご指導があり、ひとつひとつ出来る事が増え、一日一日やりがいを感じながら業務に励むことが出来ています。

プリセプターや、他の先輩方にもたくさん声をかけてもらい、メンタル面に対しても支えて頂いています。

患者さんとの日々のかかわりで、名前を覚えてもらい、「ちょっと話聞いて欲しい」と声をかけてもらうことがあり嬉しく思います。ぎこちない手技に対しても「ありがとうね」といってもらえた時は、申し訳ない気持ちと合わせて患者さんの力になれるよう頑張ろうと思います。また、先輩方のように患者さんとの関わりの中で変化に気づいていき、ケアしていきけるよう日々努力し信頼してもらえる看護師を目指して頑張っていきたいです。



2021年4月入職
看護師 Hさん

入職から3か月が経ちました。精神科看護師になりたいと看護師を志した私にとって、病棟での業務は毎日が新鮮で充実感ややりがいにあふれています。私が勤務する病棟は慢性期で高齢の患者さんが多く、採血や点滴、褥瘡処置、導尿、胃ろう注入などたくさんの看護技術を学ぶことができます。最初は上手に行えず悩むことも多かったです。病棟の先輩方の手厚いご指導のおかげで少しずつできることが増えてきています。

最初は患者さんに一方的に話しかけることが多かったのですが、患者さんに私の名前を覚えていただき、話しかけられたり、相談を持ち掛けられたりすることが少しずつ増え、コミュニケーションを通して患者さんが笑顔になったり、御礼を言われたりすることが何よりも嬉しくやりがいを感じます。

3か月間で一番強く感じたことは看護の奥深さです。教科書通りに実施することが正しいとは限らず、患者さんやその日の精神状態によって対応を柔軟に変更することの大切さと難しさを感じています。

これから頑張りたいことは、患者さんの性格や特性を活かした個別性のある看護を提供することです。患者さんの元へ多く行き、行うことで患者さんのニーズを把握し、患者さんを全人的に理解し、看護を提供することができるようになりたいです。理想とする看護を提供するべく、全力で業務に従事したいと思います。



2021年4月入職
看護師 Sさん

入職をして3か月が経過しました。私の配属されているのは男女混合の精神療養病棟で、患者さんは入院が長期に渡っている方が多いです。私ができる業務の内容は体温測定などの体調管理、服薬療法などを中心に、生活リズムを整えるようなサポートをしています。毎日一人の先輩看護師が指導者として指導して下さいます。できないことや不安なことは付き添って頂いたり実施したり、わからないことは質問したりと指導して頂いています。

最近はやっと病棟スケジュールを把握することができ、また朝の体調管理や薬の解除など単独で実施できることも増えて来ました。毎日気をつけていることは患者さんの様子を知ることです。精神療養病棟なので慢性化を辿る患者さんが多いですが、退勤してから次の勤務日までに患者さんの様子は目まぐるしいほど変化することがあります。その情報を元に患者さんの様子や変化の観察や、適切な対応を考えます。自分が患者さんの様子を知らずに接すると、患者さんの精神状態を悪化させることもあるからです。人の心は変化することがあり、奥が深いものだと感じています。その中で心がけていることは、患者さんと視線を同じにして接することです。そうすることで患者さんに寄り添う関わりができるように感じるからです。

これからも一人一人のパーソナリティに沿った精神科看護が提供できるように継続して頑張りたいと思います。